

令和7年度 学校経営基本構想・方針

川口市立柳崎小学校

校長 川端 浩司

1 学校教育目標 「なかよくする子」「自ら考える子」「健康でがんばる子」

2 目指す学校像 「ワクワクと優しさがあふれる柳崎小学校」

(1)「ワクワク」とは

- ・未知との遭遇・・・・・・・・新しい経験や場所、物事に触れるとき。
- ・夢や目標に近づくとき・・・・頑張った努力の成果が見えた瞬間。
- ・予期しない喜び・・・・・・・・思いがけないサプライズや幸運に出会ったとき。
- ・共有の感動・・・・・・・・仲間や家族と一緒に喜びを分かち合う瞬間。
- ・自己成長を感じる時・・・・新しいスキルを習得したり、困難を乗り越えたりしたとき。

(2)「やさしさ」とは

- ・共感・・・・・・・・相手の立場に立ち、感情を共有すること。
- ・行動・・・・・・・・優しさを具体的な行動で示すこと。(感謝を伝える、励ます等)
- ・内面的な視点・・・・・・・・自分自身に対する優しさ。(自己肯定感からの他者理解等)
- ・社会的な視点・・・・・・・・小さな優しさから大きな変化へ。

3 目指す児童像 「しなやかな心で、生き生きと学習し、元気よく運動する子」

～元気生き生きやなぎっ子～

目指す児童像	育てる力	方策・手立て
しなやかな心 「なかよくする子」	・他者の意見や価値観を受け入れる柔軟性 ・変化や新しい状況に対応する適応力 ・感情やストレスを上手にコントロールする自己調整力 ・自分の信念や価値観を失わずに前向きに進む強さ	○積極的な生徒指導の推進（やさしい言葉、あいさつ） ○特別活動「児童の特性の伸長」 ・特に学級活動の充実（所属感、達成感、自己肯定感） ○「考え、議論する道徳」の推進 ○学校図書館教育の充実（読書の推進） ○環境美化「環境美化活動の推進」（古くてもきれいな学校） ○特別支援教育「支援体制の整備と充実」 ○ほっとルームの活用
生き生きと学習 「自ら考える子」	・自己効力感（挑戦への原動力） ・好奇心からの創造的思考 ・コミュニケーション能力 ・批判的思考（分析、評価、意見形成する力） ・問題解決能力 ・共感と協力 ・自己学習能力	○主体的・対話的で深い学びの授業実践 ・「なぜ」「どうして」を大切にしたい学び ・「見通し」と「振り返り」を活かした思考力の向上 ・ICTの活用など様々なコミュニケーションによる表現力・実践力向上 ○学力の伸びの可視化「学力向上」 ・いきいき学び合う子の育成 ・「学力向上スクラム事業」の推進
元気よく運動 「健康でがんばる子」	・体力（行動体力、防衛体力） ・集中力（脳が活性化） ・協調性 ・目標達成力 ・ストレス解消	○体育・保健・安全・給食指導の充実 ・運動好きな児童を育てる体育授業 ・主体的な健康管理と安全の確保 ・運動と遊びの環境整備 ○交通安全教育や防災教育の充実 ・持続可能で、実践的な安全教育を推進 ○家庭や地域の関係諸機関との連携 ・学校保健委員会の充実

4 目指す教師像 「すべては柳崎小学校の子どもたちのために」

○「なかよくする子」を育てるために

- ・相手の立場を考え、寄り添える教師
- ・挨拶とコミュニケーションを大切にする教師
- ・児童とともに挑戦し、ともに喜び合える教師

○「自ら考える子」を育てるために

- ・授業改善のために学び続ける教師
- ・正しく、美しいことばを使って教える教師

○「健康でがんばる子」を育てるために

- ・自ら健康で安全な生活を心掛ける教師
- ・児童とともに運動・スポーツを楽しめる教師

5 学校経営方針

全教職員が教育公務員としての使命を自覚し、専門職としての指導性を発揮し、児童を大切に
して積極的に学校教育目標の達成に努める。

- (1) 教職員一人一人の主体性と創意を生かし、特色ある教育活動の充実に努める。
- (2) 学習指導要領を踏まえた教育課程を実施し、全ての子どもたちの可能性を引き出す、令和の日本
型学校教育を推進する。
- (3) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に努めることにより学力と体力の向上を目指す
とともに、「魅力ある授業」を実践する。
- (4) 児童・保護者・地域とのコミュニケーションと信頼関係を大切にしながら、「開かれた学校」
づくりを推進する。
- (5) 日々の教育活動を通して「思いやりの心」「協力する心」「健康や安全を意識する心」等を育て、
美しく潤いのある学習環境づくりに努める。
- (6) 教育公務員としての倫理確立及び専門職としての指導力、実践力、人間性を高めるため研修の
充実に努める。

6 重点・努力目標

(1) 学力向上「埼玉県学力向上スクラム事業」

- ・すべての子の力を伸ばす授業
- ・探求的な学びの充実
- ・カリキュラムマネジメントの研究

(2) 運動好きな児童の育成と体力向上

- ・課題解決、探求的な学びと運動量確保のバランス
- ・教材開発と用具の整備

(3) 外国籍児童や保護者に寄り添った対応

- ・日本語指導の充実
- ・相談体制の整備

(4) 生徒指導「積極的な生徒指導の推進」

- ・まずは児童理解
- ・児童、保護者との信頼関係づくり
- ・日常的な非認知能力の育成（特に自尊感情、自己肯定感、自己有用感）
- ・関係機関との連携
- ・教職員がすべての児童に寄り添う姿勢（子供たちは先生方のその姿を見ている）
- ・早期発見、早期対応、最後まで見届け（組織的、継続的な対応）

(6) 安全教育・安全管理の充実

- ・子供たちの命を預かっているという意識
- ・実践的な防災教育、防犯教育、交通安全教育

(7) 特別支援教育「支援体制の整備と充実」

- ・教育支援体制づくり（校内支援委員会の充実）
- ・特別支援学級の特性を生かした指導の充実
- ・交流及び支援籍の積極的推進

(8) 学校図書館教育の充実

- ・読書の推進
- ・司書教諭、学校図書館司書との連携

7 教職員としての努力事項

(1) 笑顔と誠意をもって

- ・子供にも、保護者・地域の方にも、職員同士も、「いつも笑顔で いつも迅速に いつも誠実に」対応しよう

(2) 共働共励

- ・共に働く仲間、苦楽を共にし、共に学び合い、共に励まし合い、共に支え合おう
- ・子供と共に活動し、子供に範を示そう

(3) 仕事と仕事の隙間、人と人との隙間をうめる気配り、心遣いを

- ・互いを尊重し、感謝の気持ちを忘れずに
- ・気付き、考え、行動しよう
- ・報告、連絡、相談、確認を徹底しよう

(4) 子供の心に寄り添う言葉かけと指導に徹しよう

- ・子供のよさや頑張りを多いに褒めて育てよう
- ・子供の心を考えて指導しよう

(5) ワークライフバランス（働き方改革）

思い切って働き方を変える。しかし、プロの教師としての職務を全うすることは忘れてはならない。働き方を変えるのであって、手を抜くのではない。

- ・学年やチームとしての指導を大事にする
- ・学年会の効率化を図る
- ・年間学年指導・行事計画を作成する

先を見通した準備と運営、ふれあいデー及び学年リフレッシュデーの設定

- ・計画的な年次有給休暇取得（例：自分や家族の誕生日、結婚記念日など、）